

**営業支援事業**  
(営業支援事業会計)  
(地場企業支援事業会計)  
(スタートアップ<sup>o</sup> 応援事業会計)

1. 実施方針

(1) 達成目標

県外への発注開拓・各種商談会を通じて、県内企業の新規受注成約額 約 2 億 2,000 万円の取引拡大を実現する。

(2) 活動方針

- 県内中小製造業は、自社製品を持たない受注加工型企业が多い。え、特定の県内大手企業からの受注依存傾向が強く、新規取引先の開拓に疎いため、営業力や価格競争力が弱い企業が多い。  
そのため、県内大手企業の業績や発注方針に大きく影響されやすく、事業拡大のためには取引先の分散化が課題である。
- 具体的な方針としては、まず中小企業に対し徹底した営業支援を強化し、底辺の底上げを図る。  
また、中堅企業に対しても、県外の有力な発注情報を発掘・提供し、事業拡大を積極的に支援するとともに、県内中小企業への波及を促す。
- 特に中小企業への支援については、事業拡大思考のある企業を選定し、現有する設備・技術で対応できる県外発注企業への発注開拓を強化し、次のような方法で集中的な営業支援を行う。
  - ① 財団で収集した発注情報を優先的に提供し、県外取引への興味を引き出す。
  - ② これまで商談会等に参加しなかった企業への定期的な訪問を行い、商談会への参加を促し、県外企業との接触の場を提供する。
  - ③ 県内企業の要望を吸い上げ、県外への同行訪問活動を強化する。
  - ④ 受注可能性の高い県外企業を積極的に招聘し、県内企業を訪問面談させるスポット商談会を活用する。

- ⑤ 中小企業では対応できない大型発注案件等は、積極的に中堅企業に紹介し、併せて中小企業を紹介することで、中小企業への波及効果を図る。
- ⑥ 各種情報提供による企業力の向上を図る。

● 総額100億円のファンドの運用益を活用し、県内中小企業の事業拡大等に対する資金助成により、生産性及び価格競争力の向上、営業力の強化をはじめ、自社製品の開発や販路開拓を支援する。

## 2. 実施計画

### (1) 地場企業取引拡大支援事業 【予算額 4,541千円】

- ① ビジネスマッチングフェアの開催  
県外企業と県内企業が一堂に会する商談会を県内で年3回開催する。
  - ・開催場所 : 長崎市、佐世保市ほか
  - ・参加予定企業数 : 県外企業延べ50社、県内企業延べ150社
  - ・当初成約目標額 : 3,000万円
- ② スポット商談会の開催  
県内企業等からの要請に応じ、県外企業の調達・購買担当者等を県内へ招聘し、県内企業視察による個別の面談会を開催する。
  - ・招聘予定県外企業数 : 20社
  - ・当初成約目標額 : 1,000万円
- ③ 県外大手企業との現地商談会開催  
複数の県内企業を集め、県外の大手企業（現地）にて調達担当者との商談会を開催する。
- ④ 九州合同広域商談会への参画  
多くの幅広い発注企業と商談するために、九州各県と合同で広域商談会を開催し、県内企業の参加を促し受注機会を提供する。

(2) 下請企業振興事業

【予算額 5,191千円】

① 支援体制整備事業

県内企業の取引促進のため、登録企業データベースを活用し発注・受注情報に該当する県内企業を検索し、迅速な情報提供による取引マッチングに活用する。

また、他県財団等から取引情報を収集するとともに、職員を各種研修会等に参加させ資質向上を図る。

② 受発注情報等収集提供事業

ア 発注情報収集提供事業

- ・ 県外発注分野の開拓：延べ400社訪問
- ・ 県外企業1400社への発注ニーズ調査の実施：2回
- ・ 発注情報に基づく県内企業と県外企業への同行訪問の実施

イ 受注情報収集提供事業

- ・ 県内登録企業への訪問強化による受注ニーズ把握
- ・ 企業ガイドブックの作成：発注企業に配布

(3) ISO認証取得支援事業

【予算額 2,000千円】

ISO認証の維持に必要な県内中小企業の内部監査員の養成を支援するため、財団自主事業として、内部監査員養成研修会を開催する。

(4) 元気なものづくり企業成長応援事業

【予算額 6,891千円】

投資効果の高い中堅企業の事業拡大を促進するために、集中的に取引拡大支援を行い、県外からの受注拡大を図る。

(5) 長崎県地場企業支援ファンド事業

【予算額 62,275千円】

県内中小製造業者等が、優れた技術を活かして行う事業拡大などの取り組みを支援するため、ファンドの運用益により資金助成を実施する。

- ・ 運用期間：平成20～30年度（10年間）
- ・ 基金造成額：30億円

- ① 中核人材確保事業  
販路開拓のための営業人材、製造部門の核となる技術人材の新たな雇用費用の一部を助成
- ② 技術等研修事業  
新技術導入や県内にはない技術等を習得するため、その研修に必要な費用の一部を助成
- ③ 設備投資支援事業  
新分野進出、事業拡大のために行う設備投資に要する費用の一部を助成

(6) ナガサキ型新産業創造ファンド活用事業

【予算額 97,951千円】

県内中小製造業者等が、将来の成長が期待できる分野において、経営革新や創業を行う取り組みを支援するため、ファンドの運用益により資金助成を実施する。

- ・運用期間：平成20～30年度（10年間）
- ・基金造成額：70億円

- ① 事業化等調査事業  
自社開発製品等の事業化調査・市場調査等の費用の一部を助成
- ② 技術応用開発支援事業  
新技術、新製品、試作品開発のための初期段階における研究開発の必要経費の一部を助成
- ③ 商品化研究・開発支援事業  
新技術や県内にはない技術を導入し商品化するための試作・研究開発の必要経費の一部を助成
- ④ 見本市出展支援事業  
自社開発製品等の販路開拓のため、見本市等に出展する費用の一部を助成

⑤ 全国的に有望な見本市への出展支援

県内企業からの強い要望を踏まえ、出展料が高額な大都市圏での大規模な見本市への出展を促すため、財団が展示ブースを借上げて、県内企業の自社技術等PRによる新規顧客開拓の支援事業を強化する。